

元気にあいさつをしよう

< 4 . 5 歳児 >

目的 あいさつのしかたを身につけ、気持ちのよいあいさつをする。
だれにでも進んであいさつをする。

気づく

「あいさつ」ってなあに？

どんなあいさつの言葉があるか考える。
なぜあいさつをするのか考える。

あいさつの意味を
考えてみよう

広げる深める

気持ちのよいあいさつって？

どちらのが話し合う。
よかったところをまとめる。

【身につけたいスキル】

- ・だれにでもあいさつができる。
- ・相手の目を見てあいさつをする。
- ・元気な声ではっきりとあいさつをする。

自分たちのあいさ
つの仕方を振り返
り、あいさつの仕
方を考えよう

元気のよいあい
さつ、元気がな
いあいさつ
相手を見てあい
さつ、相手をみ
ないあいさつ
笑顔であいさ
つ、笑顔がない
あいさつ
など

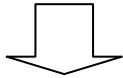
実践する

あいさつをしてみよう

実際に近くの友だちとあいさつをする。
いろいろなあいさつをしてみる。
上手にあいさつができた子を紹介する。

学んだこと
からあいさ
つの練習を
しよう

2人組で
となりどうして
1対多で
朝のあいさつ
お別れのあいさつ



実践する

あいさつリレーをしよう

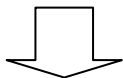
「気持ちのよい」あいさつを思い出そう。
輪になってたのしくあいさつゲームをしよう。

【留意点】

- ・左回り、右回り、両隣などゲームにバリエーションをもたせ、定着化を図る。

学んだことを生かしてゲームをしよう

おはようゲーム
あいさつリレー
握手リレー
速く
小さな輪で
大きな輪で



振り返り、実践する

< 振り返る、実践する >

どんな気持ちか話し合おう

気持ちのよいあいさつができるようになってどんな気持ちかを話し合おう。

【留意点】

- ・地域で子どもたちが日頃出会う人たちを想起させ、誰にでもあいさつできるようになることが大切である。

友だちに
家の人に
近所の人に
店の人に

活動を振り返るとともに、実際の場で気持ちのよいあいさつができるように意欲付けをする。

【学習を進めるにあたって】

- ・発達段階を考慮すると具体的なスキルを習得するためにゲーム的な要素を取り入れることも子どもたちの意欲を高める上で有効である。
- ・あいさつは人の心をつなぐものであり、コミュニケーションをとるために大切なものであることを実感させる。
- ・あいさつをすることで、心のすがすがしさを感じさせ、人と人をつなげるものであることを実感させる。